

令和7年8月20日

厚生労働大臣
福岡 資麿 殿

新型コロナウイルスワクチン定期接種の公的助成継続に関する要望書

一般社団法人 日本感染症学会
理事長 松本哲哉

公益社団法人 日本化学療法学会
理事長 高橋 聡

一般社団法人 日本呼吸器学会
理事長 高橋和久

一般社団法人 日本環境感染学会
理事長 四柳 宏

日本ワクチン学会
理事長 中野貴司

要望の趣旨

この度、厚生労働省が2025年度の新型コロナウイルスワクチンの定期接種を見直し、公的助成を縮小する方針を示されました。我々5学会の会員の多くは4月11日前後の報道にて本件を知るに至りました。国民が不安に感じているのではないかと懸念しております。5学会として慎重な再検討を切に要望いたします。

要望の理由

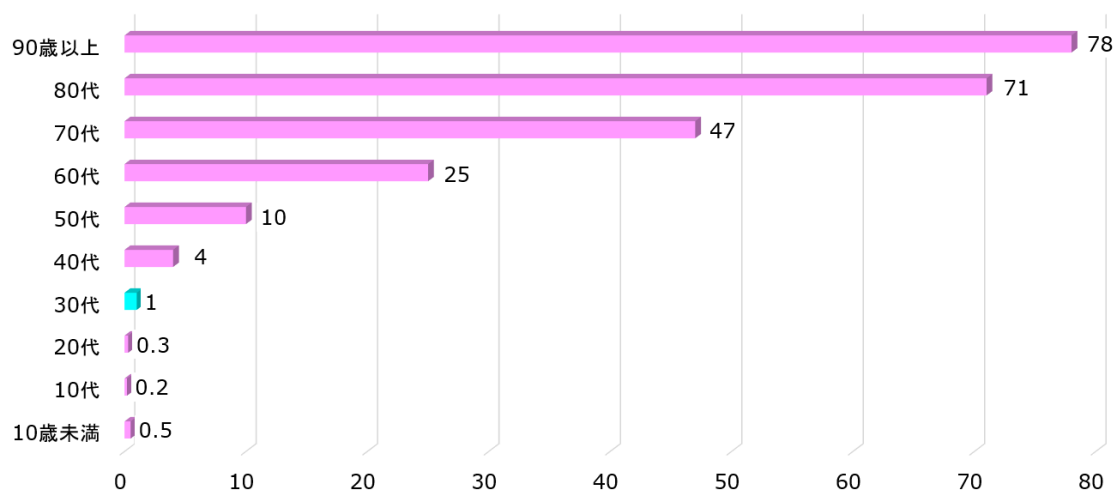
1. 新型コロナウイルス感染症の流行継続と変異株の出現リスク

新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）は、現在も季節性の流行を繰り返しており、今後も継続的な感染拡大が予測されます。また、ウイルスの特性上、新たな変異株の出現リスクが常に存在し、感染力や病原性が変化する可能性があります。特に冬季には他の呼吸器感染症との同時流行による医療負担の増大が懸念されます。また、自然感染やワクチンで獲得した免疫も減弱するため、インフルエンザ同様追加免疫が必要だと考えられます。このような状況の中、ワクチン接種は重症化予防において極めて重要な手段として位置付けられます。

2. 高齢者・基礎疾患保有者における重症化リスクの継続

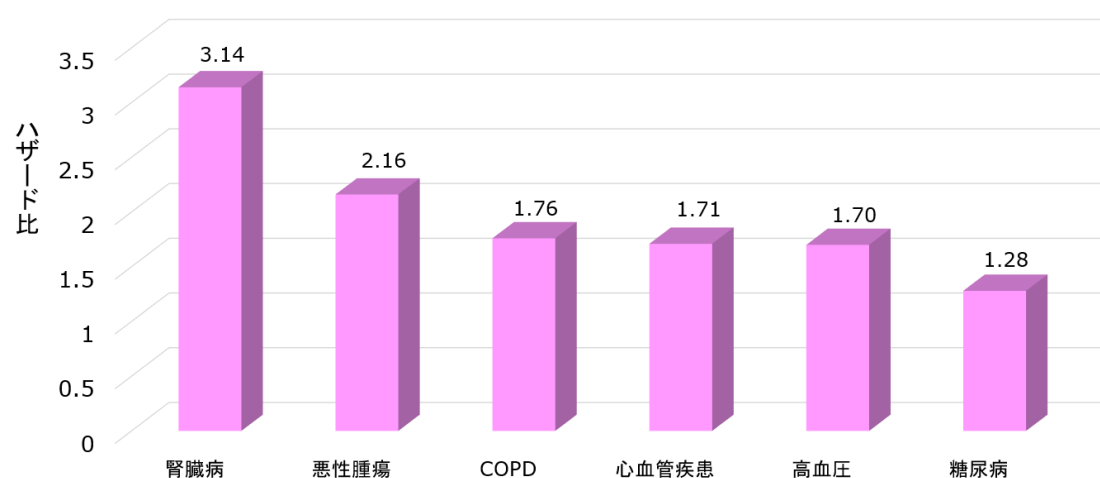
65 歳以上の高齢者および基礎疾患を有する 60～64 歳の方々においては、依然として新型コロナウイルス感染による重症化および死亡リスクが高いことが示されています。図 1、2 は 2023 年の成績ですが、2024 年にも我が国では 20,000 人以上の方が新型コロナウイルス感染症で亡くなられています。その多くは高齢者・基礎疾患保有者と考えられます。こうした脆弱な層の保護は、公衆衛生上の優先事項であり、継続的なワクチン接種の機会確保が不可欠です。

図 1：30 代を 1 とした場合の各年代の重症化率



厚生労働省 HP（2023 年 4 月版）新型コロナウイルス感染症の“いま”に関する 11 の知識より作図

図 2：各基礎疾患と死亡リスク（Flacco ME et al. *Viruses*. 2023; 15(9): 1794.より作図）



3. 公衆衛生上の集団免疫効果の維持

自然感染やワクチンで獲得した個人の免疫は次第に減弱します。ワクチン接種率の低下は、社会全体の免疫レベルの低下につながり、感染拡大の規模拡大や医療機関の負担増加を招く可能性があります。公的助成の縮小は接種率の低下を招き、結果として社会全体の健康リスクを高める恐れがあります。

4. 経済的観点からの予防医療の重要性

ワクチン接種による予防は、感染症の治療や入院に比べて医療経済的にも効率的です。公的助成の縮小により接種率が低下した場合、医療費総額の増加につながる可能性があります。さらに最近では過去の報告のメタ解析により後遺症の発症抑制効果も報告されています。そのため、予防接種への公的助成は、将来的な医療費抑制や社会経済活動の維持の観点から有効な政策投資と考えられます。

5. 国際的な感染症対策との整合性

WHO 及び主要国の多くは、新型コロナウイルスに対する継続的な警戒と対策の必要性を強調しています。また、新型コロナウイルスワクチン接種に対する公的支援が継続されている国も多く見られます。国際的な感染症対策と整合性のある対応を行うことは、グローバル社会において必要な対応と考えます。

具体的要望事項

1. 少なくとも高齢者（65 歳以上）および基礎疾患を有する方に対するワクチン定期接種の公的助成の継続
2. 医療従事者などの重要インフラ従事者に対する接種費用の支援
3. 現在の疫学状況および国内外の最新知見に基づく、ワクチン政策の評価検証
4. 感染症危機管理の観点から、ワクチン開発および供給体制の安定的維持に必要な財政負担の検討
5. ワクチン接種に関する正確な情報提供と啓発活動の継続・強化

少なくとも我々 5 学会としては冬季のインフルエンザワクチン接種に対する取り組みに準じた十分な備えを国民に呼びかけること、新型コロナウイルスワクチンの接種率を上げるために必要な体制を整えることが国民を守るために必須であると考えます。

感染症関連学会としては、公衆衛生上の観点から、科学的エビデンスに基づく政策決定の重要性を訴えるとともに、専門的知見を提供することが私どもの役割であると強く認識しております。何卒御理解の上ご検討のほど、よろしくお願い申し上げます。